



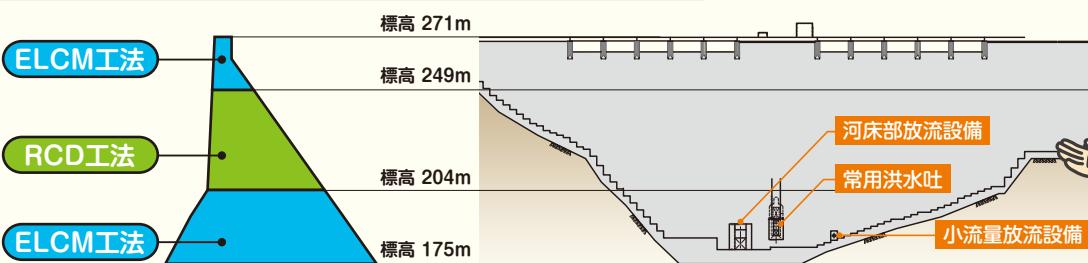
2025年度で足羽川ダム本体(堤体)のコンクリート打設量は

60万m³に達し、全体の約90%が完了しました。

2026年度からはELCM工法を用いて最終の仕上げに入ります。

コンクリートダムの建設において、効率的かつ高品質な施工を実現するために用いられる代表的な工法として、「RCD工法」と「ELCM工法」があります。足羽川ダムではこの2つの工法を用いてコンクリート打設を実施しています。

足羽川ダムのコンクリート打設の工法



ELCM工法 (Extended Layer Construction Method)

広域・複雑な形状への高い適応力

足羽川ダムでは、標高204m以下の部分に放流設備や構造物が多く配置されています。そのような複雑な形状に対応するため、流動性の高いコンクリート(有スランプ)を使用し、バイブレーターでしっかりと締め固めます。また、標高249m以上の部分では、ダムの上下流の幅が狭くなるため、同様にELCM工法が用いられます。



2つの工法の違い

	ELCM工法	RCD工法
コンクリート	流動性がある (有スランプ)	流動性がない (ゼロスランプ)
締固め方法	内部振動機 (バイブルーター)	振動ローラー
施工方法	型枠が必要で、コンクリートを一定の高さ(1フット)ごとに打設し、振動機で締め固める	型枠は不要で、コンクリートを薄い層で水平に敷き詰め、ローラーで転圧する
施工条件 (雨天時)	4mm/h以上の降雨で施工不可	2mm/h以上の降雨で施工不可
打設作業の 違い	表面が硬化するまでの養生期間は立入禁止	打設数時間後から人や車両の乗入が可能
メリット	形状が複雑、中小規模のダムに適し、柔軟性と精度が求められる場合に有効	大規模で単純な形状のダムに適し、施工速度とコスト削減が強み

RCD工法 (Roller Compacted Dam Concrete)

施工範囲が広い場合に力を発揮

標高204m以上の部分はダムの形状が単純であるため、均一に締め固めが可能で工事を効率的に進められる、流動性がほとんどない超硬練りコンクリート(ゼロスランプ)をブルドーザーで敷均し、振動ローラーで締め固めます。この方法により、工期の短縮と工費の削減を実現しました。



コラム
1

令和7年8月5日、堤体打設50万m³に達成



打設開始から約3年弱で、堤体体積約67万m³に対して約75%まで進捗。
池田町役場の皆様と共に祝いました。

コラム
2

いつでも、足羽川ダム建設現場



足羽川ダムのホームページトップ画面から、リアルタイムにダム打設状況が確認できます!

channel Asuwagawa
でわかる
コンクリートの違い



超硬練りと有スランプの
違いがわかります



足羽川ダムの環境保全について

ダム建設に伴い、自然環境への影響を調査・予測・評価する「環境アセスメント」を実施し、環境保全対策を行っています。現在も「足羽川ダム環境モニタリング委員会」の指導を受けながら、環境保全に配慮して事業を進めています。

ダム周辺には、貴重な動植物が生息しています。代表的なものとして、「アジメドジョウ」が河川に生息しており、全国で生息数が減少の中、足羽川では建設工事中においても生息数を保っています。



動植物に関する取り組み～重要な種の保全～

アジメドジョウとは

中部及び近畿地方の府県に分布する日本特産の種。福井県では、九頭竜川水系や河野川、笙の川に分布するが、年々生息数は減少しています。

- 「環境省レッドリスト」：絶滅危惧II類
- 「福井県レッドデータブック」：県域絶滅危惧II類

アジメドジョウの生態について

- 河川の上・中流域の平瀬の礫の間に生息し、秋には上流に移動し、晩秋は伏流水中に潜り、越冬します。
- 産卵期は冬又は春と推定され、水温9°Cで17日目に孵化します。稚魚は産卵床から5~6月に現れ、礫底で生活を始めます。

アジメドジョウにおける工事対策

ダム下流河川に濁水からの避難場所を整備

足羽川の河川環境に関する取り組み

掘削面からの濁水を河川に流さないように沈砂地を設置



1月下旬からデビュー

出前講座開始します！ダム模型を製作

足羽川ダムではダムの仕組みを学んでもらうため、ダム模型を製作しました。小学校を中心に出前講座を実施します。私たちが暮らす福井平野の地形の成り立ちから、なぜ、足羽川ダムが必要なのかを模型を通じて学んでみませんか？

只今
出前講座を
募集中！

問い合わせ先

調査設計課 TEL:0776-27-0642
お気軽にご相談下さい！

詳しく足羽川ダムの事業を知りたい方はここまで！

足羽川ダム

検索

channel Asuwagawa & X

足羽川ダムのSNS! 最新の現場情報と地域情報を配信中。

足羽川ダム YouTube

検索

足羽川ダム
工事事務所HP



channel
Asuwagawa



X



【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643
<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/> (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)